

2024年1月29日

## JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 地域金融機関連携案件」への参画について

株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：松田 正彦）は、独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）の委託事業である2023年度「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」に対する当行お取引先の案件申請を支援し、「地域金融機関連携案件」として採択されましたのでお知らせします。なお、本件は当行で初の採択となります。

本事業において当行は、JICA 東北と取引先企業が連携して行うアフリカ地域におけるSDGs ビジネス展開に向けたニーズ確認調査について調査団として参画いたします。

### 記

#### 1. 事業概要（予定）

案件名	アフリカ地域 電気も水源もない場所で空気から飲料水を作る製水装置ニーズ確認調査
提案企業	株式会社渡会電気土木（本社所在地：山形県鶴岡市、代表取締役：丹治 真彦 様）
対象地域	アフリカ地域
事業概要 （取組概要）	ユニセフと世界保健機関（WHO）の報告によれば、世界では約22億人が家庭で安全に管理された飲料水を手に入れることができず、特にアフリカ地域ではその割合が高いことが分かっています。株式会社渡会電気土木様が提案する、電気も水源もない場所で空気から安全・安心でおいしい飲料水を大量に作る製水装置をアフリカに導入することで、安全な水へのアクセスが容易になり、健康改善や、水汲み労働からの解放による女性の社会進出や子供の学習機会増大に貢献することを目指します。

#### 2. 中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済活性化も兼ねて実現することを目指すもので、全国の企業が広く活用することで、地域経済活性化にも役立つことが期待されています。

#### 3. 地域金融機関連携案件とは

途上国の課題を解決するSDGs ビジネスの実現性を高め、地域経済活性化に一層資することを目的に、提案法人と地域金融機関が連携して海外展開を検討・調査する案件です。

#### 4. 本ビジネスが達成に貢献するSDGs



荘内銀行は「サステナビリティ方針」および「SDGs宣言」のもと、お客さまの成長支援や夢の実現、地域の産業振興や賑わい創出に力を注ぎ、地域社会・経済の持続的な発展の一助となることを目指しています。

以上

本件に関するお問い合わせ先 営業推進部 地方創生室 軽部・齋藤 TEL：023-626-9019